

《公立公的病院等再編・統合阻止》

2020年1月14日

424 愛知共同行動 通信

NO. 3

発行：「424 愛知共同行動」事務局
愛知社保協地域医療委員会(文責:長尾)

☆各構想区域の「地域医療構想推進委員会」に傍聴参加しよう！

- ①「あま構想区域」－1月27日(月)14:30～、津島保健所
- ②「西三河南部西構想区域」－2月19日(水)詳細調査中

*1月10日「県推進委員会」を受けて、各構想区域の推進委員会が開催されます。情報によれば、今月中にも「民間データ」も県に開示され、「再検証」要請の通知も届くとのことです。各構想区域の推進委員会は、通知やデータを含めた中で、「名指し病院」の再検証内容についての検討承認となる予定です。1月末(1/28, 29)には名指し病院への訪問・懇談を予定していますが、名指しされたからと言って、ダウンサイジングや病床機能転換など性急な見直しを行わないよう、要請と、労使の協議等が重要です。すでに明らかとなっている構想区域の推進委員会には、「傍聴」で成り行きを見守っていくことも重要です。

県計画①「外来医療計画」、②「医師確保計画」へのパブコメを提出しよう！

新たな県計画①「外来医療計画」、②「医師確保計画」の計画案が出され、1月19日締め切りでパブリックコメント募集が行われています。2つの計画は、3月の「県医療審議会」で承認決定のスケジュール(案)が示されています。地域医療構想と密接に結びつき、病床を2025年には「必要病床数」を完遂することを前提に計画案が策定されています。私たちの「声」を届けなければ、何の問題なく承認されることとなりかねません！

ぜひ、それぞれがパブコメを県に提出しましょう！

(パブコメは、県のHPより検索し、様式に沿った内容で送付してください)

424 名指し病院—愛知県内9病院の実態(木曾川市民病院・津島市民病院・あま市民病院・コロニー中央病院・みよし市民病院・碧南市民病院・国立東名古屋病院・中日病院・ブラザー記念病院)

①一宮市立木曾川市民病院(所在地:一宮市木曾川町黒田字北野黒 165)

歴史—昭和25年木曾川町国保木曾川町診療所として開設。昭和27年木曾川町立木曾川病院、平成元年新病院本館、平成11年療養型病棟新築、平成17年市町村合併に伴い一宮市立木曾川市民病院に改称。

病床機能報告と、2025年の病床計画

年度	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
2017年	138	0	90	48	0
2018年	138	0	90	48	0
2025年計画	138	0	0	138	0
差引	0	0	▲90	90	0

2017年度の「急性期」90床の診療実績にもとづき、名指しされましたが、病院の**2025年病床計画は、「回復期」138床に集約の計画**となっています。よって、あえて病床を削減したりする必要はないと考えます。ただし、今後の議論によっては、公立病院が急性期以外の機能を持つ必要があるのか？という点が問題となるかも知れません！？一部に民間に任せるべきとの論点がある

ため。よって、地域的に「回復期」機能を担う必要性を根拠持って説明する必要があります。

②津島市民病院(所在地:津島市橋町3-73)

歴史—昭和18年社会事業協会より譲渡移管され津島町立病院(一般58床)として設立。昭和22年市制施行により津島市民病院と改称。昭和29年現所在地に分院(結核117、一般58)を開設。人口増加と共に徐々に病床を増床、平成17年440床(一般)に。

病床機能報告と、2025年の病床計画

年度	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
2017年	440	0	345	95	0	0
2018年	440	7	287	95	0	51
2025年計画	440	7	287	95	0	51
差引	0	7	▲51	0	0	51

2017年度の「急性期」345床の診療実績にもとづき、名指しされましたが、2018年度には急性期を▲51床減らし287床で運用し、病院の**2025年病床計画でも、「急性期」287床の計画で、51床は「休床」となっています**。よって、あえてこれ以上の病床を削減したりする必要はないと考えます。ただし、

今後の議論によっては、公立病院が急性期以外の機能を持つ必要があるのか？という点が問題となるかも知れません！？一部に民間に任せるべきとの論点があるため。よって、地域的に「回復期」機能を担う必要性を根拠持って説明する必要があります。また、「休床」51床について、このままでは、削減が求められる可能性が高く、今後の運用方針を具体化する必要があります。

③あま市民病院(所在地:あま市甚目寺畦田1番地)

歴史—昭和22年甚目寺町ほか6ヶ町村国保組合病院創立。昭和24年甚目寺町外5か町村尾陽病院組合。昭和53年公立尾陽病院(一般126、結核24)。平成22年あま市民病院に改称。平成27年現所在地に新築移転。平成31年公益社団法人地域医療振興協会による経営(指定管理者)運用開始。

病床機能報告と、2025年の病床計画

2017年度の「急性期」135床の診療実績にもとづき、名指しされましたが、2018年度には急性期を▲45床減らし「回復期」45床に転換しました。

年度	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
2017年	180	0	135	0	0	45
2018年	180	0	90	45	0	45
2025年計画	180	0	135	45	0	0
差引	0	0	0	45	0	▲45

病院の**2025年病床計画では、「休床」45床を「急性期」で再開の計画で、急性期は135床**となっています。よって、あえてこれ以上の病床を削減したりする必要はないと考えます。ただし、今後の議論によっては、公立病院が急性期以外の機能を持つ必要があるのか？という点が問題となるかも知れません！？一部に民間に任せるべきとの論点があるため。よって、地域的に「回復期」機能を担う必要性を根拠持って説明する必要があります。

④愛知県心身障害者コロニー中央病院(所在地:春日井市神屋町713-8)

歴史—昭和45年愛知県立コロニー中央病院として開設。平成31年3月には「愛知県医療療育総合センター」を開設し、「青い鳥医療療育センター」(名古屋市西区)、「三河青い鳥医療療育センター」(岡崎市)の3つを包括する中央病院という位置づけ。県の障害児(者)医療の拠点施設としての機能を強化。

病床機能報告と、2025年の病床計画

年度	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
2017年	230	0	110	0	120
2018年	230	0	110	0	120
2025年計画	230	0	110	0	120
差引	0	0	0	0	0

2017年度の「急性期」110床の診療実績にもとづき、名指しされました。

が、その後、2019年3月に「愛知県医療療育総合センター」として開所されました。病院の**2025年病床計画では現行運営病床230床を維持し、「急性期」は110床の計画となっています。**よって、あえてこれ以上の病床を削減したりする必要はないと考えます。

ただし、今後の議論によっては、公立病院が急性期以外の機能を持つ必要があるのか？という点が問題となるかも知れません！？ 一部に民間に任せるべきとの論点があるため。よって、「慢性期」120床の政策医療的な位置づけ等を明確化する必要があります。